

所内の様々な場所で俳優＝四人たちは稽古を繰り返すが、やがて、それぞれの過去や性格が役に同化し、刑務所自身がローマ帝国へと変貌していく。2012年ベルリン国際映画祭金熊賞。  
 <脚本・監督> パオロ&ヴィットリオ・タヴィアーニ  
 <出演> コジモ・レーガ、サルヴァトーレ・ストリアノ、ジョバンニ・アルクーリ

(2012年イタリア映画 1時間16分)

ミュージアムホールにて

①10:30～ ②13:30～ ③15:30～ (各回入れ替え)  
 1人 1,000円 芸術の館友の会会員 500円

■ 県美シネマクラシック

7月19日(金)

ヒッチコック・ワンコイン特集

「レベッカ」 10:30～

ヒッチコック渡米第一作。モンテカルロで英国貴族マキシムと出会った美しいアメリカ娘は、妻を亡くして傷心の彼と結婚し大邸宅へ。しかし先妻の家政婦デンヴァー夫人は新妻に冷たい。やがて新妻は先妻レベッカの影に耐え切れなくなり…。アカデミー賞作品賞・撮影賞授賞 (1940年)



<出演> ローレンス・オリビエ、ジョン・フォンテーン

「断崖」 13:30～

魅力的なプレイボーイと結婚したヒロイン。だが、夫は博打で借金漬けになり会社の金まで使い込んでいた。彼女は夫が財産目当てに自分を殺そうとしているという疑惑に憑(つ)かれていく。夫の運ぶミルクが毒入りではと疑う妻の恐怖。(1941年)

<出演> ジョン・フォンテーン、ケリー・グラント

「汚名」 15:30～

あのフランソワ・トリュフォーも大好きな作品で、いわく「ヒッチコック映画の神髄」(『ヒッチコック映画術』晶文社)。バーグマン演じるヒロインは南米に逃れたナチの残党を探るため、その幹部の一人と結婚するのだったが…。(1946年)

<出演> イングリッド・バーグマン、ケリー・グラント

ミュージアムホールにて 1人1作品ごとに500円

各主催者によるイベント

美術・デザイン・映像・アニメ・マンガ・芸術学 進学相談会

6月8日(土)

ギャラリーにて 12:30～15:30 無料  
 主催:(株)さんぼう

One and Only vol.5 イタリア編  
 ～古歌の輝き～ (歌・チェンバロ)

6月9日(日)

アトリエ1にて 15:00開演(14:30開場)  
 前売 2,000円 当日 2,500円  
 主催:OandOプロジェクト  
 問合せ先:080-5639-2481  
 oando\_info@yahoo.co.jp

演劇公演

6月15日(土)～16日(日)

アトリエ1にて 15日 16:00～、16日 12:00～、14:30～  
 前売 1,300円 当日 1,500円 学生 1,000円  
 主催:劇団21世紀枠

ピアノ発表会

7月20日(土)

アトリエ1にて 12:30開演(12:00開場) 無料  
 主催:橋際和江、濱恵子、井奥千夏子

# 展覧会

## 次回特別展

### 生誕130年 橋本関雪展

9月14日(土)～10月20日(日)



〔南図〕左隻・部分 1914年 第8回文展出品 姫路市立美術館蔵

兵庫県ゆかりの日本画家、橋本関雪(1883-1945)の生誕130年を記念して開催します。旧明石藩の儒者の子として生まれた関雪は、中国の古典や歴史をテーマとした作品を多数発表、官展の代表的画家として活躍しました。また東西両洋を見据え、新南画という新領域を拓いたほか、動物画にも多くの名作を残しています。展覧会では、大正から昭和にかけての日本画壇に大きな足跡を残した橋本関雪の画業をおよそ60点の作品で紹介するとともに、その創作活動を支えた美意識、芸術観を探ります。

## 小企画展・特集

2013年度 コレクション展I

### 特集 いのちの色 美術に息づく植物

3月9日(土)～6月23日(日)



新井完 《あさがお》 1928年

本展では、美術作品に表された「植物」に注目し、さまざまな表現をご紹介します。風景画の草木、静物画の花や果物。新井完《あさがお》のように、人物を大きく描いた絵画で、植物が画面の重要な位置を占める作品もあります。また、彫刻のモチーフにもなっています。展示室をめぐりながら、花や果物の色、かたち、木もれびや風が揺らす葉の音といった、自然の息づかいを発見してください。

#### 関連イベント

■ 学芸員によるギャラリートーク

6月8日(土) 16:00～(約30分)  
 常設展示室にて 参加無料(要観覧券)

■ ギャラリートーク 「美術館で植物散歩」

植物学者をゲストにお迎えします。  
 6月15日(土) 16:00～(約30分)  
 ゲスト:鈴木武(兵庫県立人と自然の博物館研究員)  
 常設展示室にて 参加無料(要観覧券)

■ ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の金・土・日曜 13:00～(約45分)  
 エントランスに集合 参加無料  
 (内容により要観覧券)

## 小企画展・特集

2013年度 コレクション展II

小企画 美術の中のかたち 一手で見る造形

近いかたち、遠いかたち

—岡晋司・重松あゆみ・中西學—

特集 新収蔵品紹介

「信濃橋画廊コレクション」を中心に

7月6日(土)～11月10日(日)

小企画は、視覚に障がいのある方のための毎夏恒例展。今回は見るかたち、思うかたち、感じるかたちをテーマに3人の関西在住中堅美術家に出品をお願いしています。



中西學 《アムルタ》 2006年



福岡道雄 《ピンクバルーン》 1966/1986年

特集では、関西の現代美術史を語るうえで欠かせない存在である信濃橋画廊(1965-2010)の主宰者、山口勝子氏が収集した「信濃橋画廊コレクション」をはじめ、この1年に新たに当館の収蔵品に加わった作品群から、ハイライトをご紹介します。

## ヴェルサイユ宮殿のスーパーセレブ！ マリー・アントワネット物語展

7月6日(土)～9月1日(日)

会場:ギャラリー棟3階

王妃が愛用した装飾品や名門貴族が受け継いできた家宝など約120点の展示を通じて、マリー・アントワネットの生涯をたどります。



ヴィジェール・ブラン 《王妃マリー・アントワネット》 1778年  
 プルトゥイユ城所蔵  
 © La Vie de MARIE-ANTOINETTE 2012-13

#### 関連イベント

■ 記念講演会

「アール・ド・ヴィーヴル ～マリー・アントワネット流 お洒落なライフ・スタイル～」

講師:石澤季里(カルチャー・サロン「ブティ・セナクル」主宰)

7月28日(日) 14:00～(13:30開場)

レクチャールームにて 聴講無料(先着100名・当日13:00から整理券配付)

<http://www.marie-monogatari.com>

## 2013 県展

7月27日(土)～8月17日(土)

会場:原田の森ギャラリー 2階大展示室

会場へのアクセス方法は、4ページの地図を参照してください。

兵庫県内で美術制作に励む方々の発表の場として続いてきた公募展です。より多くの方にご覧いただきたく、今回から観覧無料になります。今年で51回目、伝統ある県展の新たなステージに、どうぞご期待ください。

### お子さまを預けてゆっくり美術鑑賞はいかがですか？ 当館内にて一時保育を実施!!

6月20日(木)、7月3日(水)、13日(土)、31日(水)  
 詳しくは、「NPO法人子育て家族サポートふるーる」  
 要予約 有料 kako-o-kako@m6.gyao.ne.jp  
 TEL 090-3948-3719/FAX 078-755-0973  
<http://www.artm.pref.hyogo.jp/pdf/hoiku.pdf>